

日蓮大聖人御書全集

たんぎようじゅじごしよ

但樂受持御書

新版
2160

たんぎようじゅじごしよ

但樂受持御書

書

あみだきようとう

れいじ

読

もう

とかくべし。

阿弥陀経等の例時をよまずと申すは、これ

こころ得

あみだきようとう

ほし

ほけきよう

つき

また心えられず。

阿弥陀経等は星のごとし、法華経は月の

ひ

すぐ

きよう

そうろう

おと

きよう

もの

ごとし日のごとし。

勝れたる経をよみ候を、劣る経の者

制止

こころ得

そうら

書

こうれい

勤

もう

がせいしこそ心えられ候わねとかけ。

恒例のつとめと申

何

こうれい

ほとけ

こうれい

ほけきよう

ほとけ

ねが

すはなにの恒例ぞ。

仏の恒例は法華経なり。仏は「ただ樂

じゅじ

とう

まこと

ほけきよう

ぎようじや

あみだきようとう

つて受持す」等とて、真の法華経の行者、阿弥陀経等の

しようきよう

読

説

たま

そうら

小経をばよむべからずとこそとかせ給いて候えとつめ

かきにかけ。